

『観光学』の創刊の辞

観光学会長 大橋 昭一

人間は、なに故、観光を欲するのであろうか。観光、端的には旅(旅行)は、少なくとも人類の始まりからあった。単一の人類というものがこの地球上でこれほど広く生息していることからもはっきりしている。

しかし、旅は、近代にいたるまで難行苦行の連続であった。ところが、当時の旅行記などをみると、そうした苦難よりも、新しい見知らぬ土地を訪れた、その驚きや素晴らしさの方がはるかに旅人たちに感動を与えたことが読み取れる。そして、そのことが現在のわれわれにも深い感銘を与えるのである。観光という言葉は、『易経』の「観国之光、利用賓于王」から来たものといわれるが、もとより単に「国の光を観ること」ではなく、「人の光を観ること」なのである。

和歌山大学観光学部は、観光学部と称する国立大学初の学部である。その根本としているのは「人の光を観ること」である。そのため、これまでにはない広い角度から観光をとらえ、観光の原点に帰って、観光を学ぶとともに、観光を創り出すことを理念としている。

一方、今日の観光研究にとっては、国際的研究動向をフォローするだけでなく、それをリードするスタンスが必要とされる。

観光の国際的研究は、概ね1960年代以降盛んになった。例えば現在国際的学術誌として知られている“*Journal of Travel Research*”の創刊は1962年、“*Annals of Tourism Research*”のそれは1973年、“*Tourism Management*”のそれは1980年である。それ以降の発展には実に刮目すべきものがあるが、英国の場合をみると、同国の著名な観光学者であるトライブ (Tribe,J.) / エアリー (Airey,D.) によると(注1)、2006年現在、同国のみで観光関係学術誌は40、観光に関するドクター論文は、1990年から2002年の間に8倍以上になっている。

国際的な観光振興・協議機関としては世界観光機関 (UNWTO) や世界旅行・観光産業会議 (WTTC) などが中心的役割を果たしているが、国際的な観光関係データの収集・編集では、観光業務の特殊性に立脚した「観光サテライト勘定」(Tourism Satellite Account: TSA) がよく知られている。この点に関して、近著でオーストラリアのドワイヤー (Dwyer,L.) / フォーシス (Forsyth,P) / スプル (Spurr,R.) は、観光サテライト勘定は、例えばインバンド増加の効果について、観光産業内部だけの計算はできるが、国民経済全体におけるその計算はできないとして、この種の計算には「計算可能一般均衡モデル」(Computable General Equilibrium: CGE) による必要があると改めて問題提起している(注2)。

その一方、国際的論壇では、観光産業と他部門との相互関係の分析等のためには、世界観光機関などで用いられている「観光付加価値」(tourism value added) 以外に、「観光業付加価値」(value added of the tourism sector) の概念が必要という主張もある(注3)。

グローバル化のもとに、わが国観光でも強力なインバンド増加策がとられ、国際化が一段と進むと思われる今日、国際的視野にたった観光研究を質・量ともに大きく進展させることが必須の課題である。

こうした国際的場面を含めた観光の研究・教育の発展を目指して、わが観光学部は設立されたのであるが、その課題の一端を果たすために、ここに『観光学』を創刊するものである。本誌が本学部に課せられた課題を果たし、現在、わが国のみならず、世界的に必要とされている観光の研究・教育の発展に寄与することを期するものであるが、収録の内容について大方の厳しいご高評、ご批判、ご叱声を心から期待するものである。

終わりにあたり、この『観光学』創刊にたいして和歌山大学当局、とりわけ小田章学長には多大なご支援、ご鞭撻を賜った。学部一同を代表してここに深甚なる謝意を表すものである。また、本誌発刊に際し発行体制立ち上げなどで格別のご尽力をいただいた観光学部大津正和教授、藤田武弘教授をはじめとする関係教職員各位に厚くお礼を申し上げるものである。

(注)1. Tribe,J./Airey,D., A Review of Tourism Research, in: Tribe,J./Airey,D.(eds.), *Developments in Tourism*



- Research*, Amsterdam: Elsevier, 2007, p.5.
2. Dwyer,L./Forsyth,P./Spurr,R., Productivity and Yield Measurement in Australian Inbound Tourism Using Tourism Satellite Accounts and General Equilibrium Modelling, in: *ibid.*, pp.77-94.
 3. Mihalič,T., Tourism and Economic Development Issues, in: Sharpley,R./Telfer,D.J.(eds.), *Tourism and Development: Concepts and Issues*, Clevedon: Channel View Publications, 2002(reprint 2007), p.110.

